

10/5 大阪府歯科保険医協会 敬
 発行人 志岐 敬
 大阪市浪速区幸町1-2-33
 電話(06)6568-7731(代表)
 http://osk-net.org/
 2016年第1247号 ●定価・年間10,000円 月1,000円
 (毎月5、15、25日発行) ●1977年5月23日第三種郵便物認可

市民講座

「健康は健口から」

保険でよい歯科診療を
 大阪連絡会

11月3日 木・祝 13:30~15:30

保険医協同組合会館5F M&Dホール

参加費無料

「保険でよい歯科診療を大阪連絡会」は11月3日、「健康は健口から」意外な老化予防法のテーマで足立平氏(神戸常盤短期大学口腔保健学科教授)を講師に招き市民講座を開催する。

▽歯が丈夫な人は「長い」「ボケない」と言われ、実際に歯が多い人は長命である▽よく噛むことや唾液を出すことなどの口の働きを維持することによって、子どもから高齢者までの幅広い年齢層で運動能力や学習・記憶能力の低下を防ぐことができる▽口腔内細菌は、肺炎など多くの全身疾患の原因や誘因になり、口腔ケアの重要性は、日増しに高まっている▽口腔内の健康を保つことが、健康や長寿の源であることについて、さまざま事例やデータを元に話してもらう。今号に案内チラシを同封しています。スタッフや患者さんをお誘い合わせの上、ご参加ください。お申し込みは協会まで。



講師：足立平氏
 大阪歯科大学卒業(1978年)。神戸常盤短期大学口腔保健学科教授。兵庫県保険医協会理事。



総会記念のシンポでは、子どもの貧困実態について交流した=大阪市天王寺区

子ども貧困ネット設立

戸井副理事長が理事に就任

貧困に苦しむ子どもを支援するため、大阪府下で活動する団体・個人で構成する「子どもの貧困問題大阪ネットワーク」が9月24日、設立総会では、団体の目的や規約、活動方針等が決められた。また協会から戸井副理事長がネットワーカー理事に就任した。子ども貧困ネットは、今後、加盟10団体をはじめとした関係団体・個人と協力しながら子どもの貧困解決に向けて活動していく。

記念シンポジウム
 同日、記念シンポを開催、戸井副理事長をはじめ、4人から子どもの貧困実態や取り組みが紹介された。戸井副理事長は、学校歯科治療調査から、貧困と子どもの口腔崩壊について発言した。

社会保障の財政基盤を侵食

1980年代以降の日本の雇用政策はどのように変わっていったか。80年代以降、段階的な規制緩和によって「日本型雇用慣行」は崩壊への道を進んでいる。経団連の前身にあたる日本経営者団体連盟は95年に「新時代の『日本の経営』」という提言を出した。2014年11月の

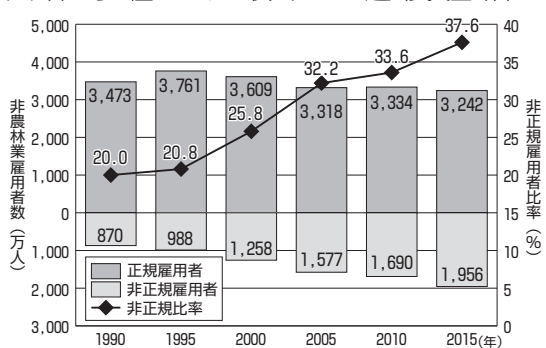
「労働力調査」では、統計を取り始めた84年以降で初めて非正規労働者が2000万人を超える。正規雇用であっても、過労死ラインを超えるサービスマンや、それを強要するブラック企業が蔓延。失業率はOECDの定義によると13%程度に達し、OECD平均(12%)

弱を上回っている。日本はすでにヨーロッパ並みの高失業率社会である。OECD諸国、特に先進国の中で日本の失業給付の受給率の低さが目立つ。失業給付を受けていない失業者の割合は、ドイツ13%、フランス18%、イギリス40%、日本77%となっている。かつて、失業中の雇用保険の受給割合は6割程度だったが、雇用保険制度の改悪により、現在は2割程度まで低下している。給付を受けられない失業者が200万人を超す状態だ。生活保護を利用しようとするハードルが高く、生存権保障の仕組みの脆弱さが再燃を促している。非正規雇用者、失業者の増大は、これらの階層の税負担や社会保障料負担の過重を招く一方で、これらの財政収

基礎 財政政策と社会保障の行方 ③
 関西大学商学部教授・鶴田廣巳氏に聞く



雇用破壊は社会保障にどのような影響を与えただか。従来、日本の社会保障は終身雇用と年功賃金に支えられた男性稼ぎ型を前提として構築されてきたため、社会保障が大部分を占め、一定の収入があつて初めて成り立つ仕組みになっている。



(注) 非正規雇用者(役員を除く)が対象。1~3月平均(2001年以前は2月)。非正規雇用者にはパート・アルバイトの他、派遣社員、契約社員、嘱託などが含まれる。(資料) 労働力調査

憲法・いのち・社会保障まもる
10・20国民集会
 2016年10月20日(木)13:00~
 日比谷野外音楽堂 ●タイムテーブル
 集会...13:00~14:20
 バレード...14:30~

スローガン

- ① 国の責任で、いのちと人権が大切にされる社会保障の拡充を
- ② 患者・利用者の負担増ストップ!
- ③ ストップ戦争法、平和なくして医療・介護・福祉なし
- ④ 医療・介護・福祉の充実で、安心して住み続けられる地域を
- ⑤ 医師、看護師、介護職員、保育士などの大幅増員・処遇改善を

集会参加を呼びかけます

憲法を暮らしに活かす・社会保障の充実を求める集会が20日、東京・日比谷野外音楽堂で開かれる。主催は、保団連や民医連、中央社保協などによる実行委員会。

協会では、集会への参加者を募集している。参加者には、往復の交通費と行動費を支給する。要事前申込。申し込みは、協会事務局(06-6568-7731)まで。

クイズチラシを今号同封
 国が計画する患者負担増にストップをかけるために「クイズで考える私たちの医療」チラシを作成した。追加が必要な場合は、協会事務局まで。

食の豊かさが雑食性
 の人類繁栄の元だろ
 うが、衣食足りて尚残虐
 である。

食欲の秋は健康増進の秋でもあり、食べ物への関心が高まる。食べ物は、日常最大の関心事だから言葉も多いが、欧米人は日本人ほど魚の種類に詳しくないようで、アジも鯛も魚は魚のようだ。

日本人は水で洗い流しさえすれば清潔で、中国人は加熱さえすれば安全と考える。世界中が新を使っていた13世紀の南宋では、石炭を料理に使用したようだ。エネルギー先進国の漢人は、それを軍事利用せずに高度な陶磁器を後世に残したが、鉄鋼も作れないモンゴルに滅ぼされた。

近世日本の私刑は罪人を「責巻(せまき)」にし、侍は相手を「膺(むね)にしてやる」と言う。いずれも食卓上のイメージが鮮明でやられる側の恐怖が募った。銃社会のアメリカ人キャングは六連発銃を向け、「鉛だらけにしてやる」と言うが、「連根(穴だらけ)にしてやる」と言うかどうかは知らない。

歯界
 健康増進の秋でもあり、食べ物への関心が高まる。食べ物は、日常最大の関心事だから言葉も多いが、欧米人は日本人ほど魚の種類に詳しくないようで、アジも鯛も魚は魚のようだ。